

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社IHIアグリテック					
代表者名	氏名	満永 敬哉	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	北海道千歳市上長都1061-2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	32 その他の製造業				
主たる事業の概要	農業機械・芝草刈り機の製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	7,065	6,994	2,954	3,991	3,735
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	13,644	13,508	5,937	7,906	7,464
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	8		8	8	7
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	30				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

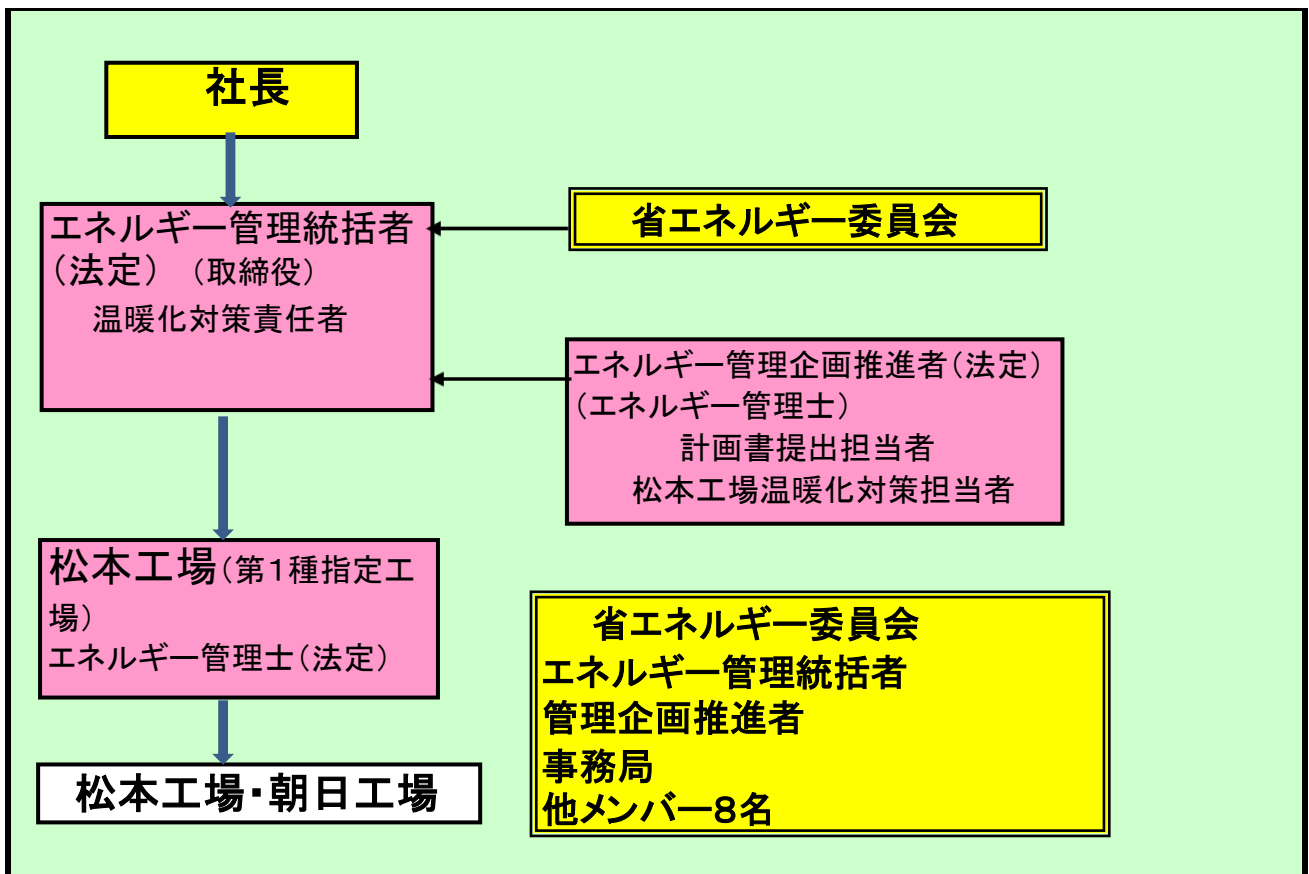
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	(株)IHIアグリテック 生産技術部 TEL 0263-25-4518 に連絡 連絡可能な時間 土曜・日曜を除く午前9時～午後3時まで
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

・省エネ法に基づく事業者全体の管理体制の構築 及び 省エネ施策の確実な実行を図り 3年間で1%の削減を目指す。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

\* 全社環境会議 2回/年

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	13,644	t-CO <sub>2</sub>	付加価値出来高	3,374.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	13,644	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	4.04	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
目標年度	目標排出量	13,508	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	4.00	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	目標削減率	0.99	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	目標削減量を3年間に1%削減を目指す。生産数量が減少し、付加価値出来高が減少する状況を考慮し原単位で1%削減を目標とする。						
第一年度	排出量	5,937	t-CO <sub>2</sub>	付加価値出来高	1,820.00	単位	百万円
	削減率	56.48	%	原単位	3.26	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2020年度	調整後排出量	5,937	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	19.30	%	
	削減率	56.48	%				
排出量等の増減理由	昨年度に比べ生産量が減少し、それに伴い付加価値出来高も減少した。総エネルギー量は減少したが原単位は好転した。鋳物工場の操業が減少し鋳物に係る電気使用量が大幅に減少したためである。						
第二年度	排出量	7,906	t-CO <sub>2</sub>	付加価値出来高	1,957.00	単位	百万円
	削減率	42.05	%	原単位	4.04	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2021年度	調整後排出量	7,906	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	0.00	%	
	削減率	42.05	%				
排出量等の増減理由	昨年度に比べ鋳物の生産量が増加し、それに伴い電力量も増加した。鋳物は電気使用量が多いが付加価値出来高が少ないため原単位が悪化した。加工・組立の生産は、昨年より若干増加したが電力量の増加割合に比べ少なかった。						
第三年度	排出量	7,464	t-CO <sub>2</sub>	付加価値出来高	2,015.00	単位	百万円
	削減率	45.29	t-CO <sub>2</sub>	原単位	3.70	t-CO <sub>2</sub> /	百万円
2022年度	調整後排出量	7,464	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	8.41	%	
	削減率	45.29	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	昨年度に比べ生産量が増加し、それに伴い付加価値出来高も増加した。総エネルギー量は減少したため原単位は好転した。鋳物工場の操業の効率化が図られそれに係る電気使用量が減少したためである。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	30	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310100	推進体制の整備	2020～ 2021	50	2020	50
2	エネ起	310500	生産工程のエネルギー管理	2020～ 2022	50	2022	30
3	エネ起	360701	ポンプの運転管理	2020～ 2022	50	2021	20
4	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理	2020～ 2022	50	2022	30
5	エネ起	380752	LEDの導入	2021～ 2022	100	2021	30
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	13,664			1	7,906	1	7,464
1,500k1以上 3,000k1未満			1	5,937				
1,500k1未満								
合計	1	13,664	1	5,937	1	7,906	1	7,464

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	8	8	8	7
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	会社から3km未満は、マイカー禁止
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2015
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄